

まちづくり構想

まちづくりの基本的な考え方

(1)基本理念（案）

（次回懇話会にて再度議論予定）

精華町には、古くからの歴史や文化を受け継いできた集落を中心とする地区、昭和40～50年代の小規模開発住宅地、学研都市の建設に伴う開発地区があり、この間、本町ではこれらの地区の調和のとれたまちづくりを追及してきました。また、本町にはこれら住民だけでなく、学研都市の開発により集積した先端技術を持つ企業群、本町域の約6分の1を占める陸上自衛隊祝園弾薬支処が存在し、これらの様々な背景により集まった人々が共存する点が、**精華町の特徴である**と言えます。

また、他の自治体が人口減少局面に入らる中でも、精華町は都市としての成長をつづけており、今後も北部地域の駅前整備や学研南田辺・狛田地区の開発などが予定されています。しかし、精華町においても将来的な人口減少や地域の高齢化は課題となっており、単身世帯の増加や個人志向の高まりなどと合わせて、地域コミュニティへの参加率は低下傾向にあります。

近年、大規模自然災害の多発により、全国的な防災意識の高まりが見られますが、地域コミュニティの活性化を図ることは、**災害時の助け合いや要配慮者への見回りなど、地域の安全・安心の基盤をつくることにつながります。**

精華町においては、世代間交流や地域間交流はもちろん、住民と学研都市への進出企業や自衛隊、在住・在勤の外国の方との交流を生むことで地域コミュニティの活性化に取り組み、さらには**交流から融合へとつなげる**ことにより、**新たな文化やコミュニティの形成を図ります。**このように**精華町独自の文化の形成に取り組み**ことでまちへの愛着を育むとともに、**町全体の防災力の向上を目指したまちづくり**に取り組んでいきます。

(2)基本方針（案）

1) 安全・安心に備える

- ・災害時に防災の拠点となる施設整備を行う
- ・アレルギー対応など、食の安全にも対応する
- ・バリアフリーへの対応など誰もが安心して利用できる施設とする

2) 地域交流を活性化する

- ・日常的に住民が集まることのできる機能を検討する（文化や芸術、スポーツなどを通じた交流）

3) 健康増進へつなげる

- ・健康的な食生活の教育・普及をめざす
- ・町内のスポーツ習慣の向上をめざす

4) 未来を見据える

- ・平常時と災害時の使い分けなど、複数の機能を持つ施設とする
- ・今後の財政状況機能集約や民間への運営委託などを検討し、適切な事業費を想定する